

ごあいさつ

公益社団法人長崎県看護協会
会長 西村 伊知恵

長崎県看護協会のホームページをご覧の皆様、新年あけましておめでとうございます。旧年中は、長崎県看護協会の事業運営にご理解とご支援を賜わりまして、誠にありがとうございました。今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと思います。私たちの仕事は24時間、365日継続が特徴ですので、年末・年始もご勤務された方も多かったはず。ご家族との和やかな時間を過ごせたかが心配ですが、それが叶っていることを心から願ひます。年末・年始と勤務された皆さん、ありがとうございました。

さて、昨年も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、人々の生活の幅は狭まった状況が続きました。

長崎県看護協会は、コロナワクチン接種を希望する県民の皆様が、いち早くワクチンを受けられるようにとの思いで、ナースセンター事業として、ワクチン接種業務に従事する潜在看護職募集、登録、研修等を行いました。そして、ワクチン接種業務委託を受けた自治体への看護職の派遣調整を行いました。また、看護協会が看護職を雇用し、保健所への派遣を行うなど、通常とは異なる事業を職員一丸となって実施してまいりました。

一方、研修は、感染状況によってハイブリッド形式とし、ほぼ計画通り実施することができました。また、8月には、一昨年やむなく中止とした長崎県看護学会学術集会をオンラインで開催し、会員の皆様とのつながりをもつことができました。知恵を出し合い、事業運営が行えていることを考えると、ひそかにうれしくなります。

とはいえ、この感染症は発生から3年目を迎えてもなお、終息までにはまだまだ時間がかかりそうです。

どうか、令和4年が、すべての皆様にとって、健康で、穏やかで、幸福な一年となりますことをお祈り申し上げます。

令和4年1月吉日